

事例

高効率ボイラへの更新と 原材料代替品による新商品の開発

事業者概要

水産食料品
製造業

株式会社マルヌシ

- 代表者：地主 裕太
- 従業員数：89名
- 資本金：80百万円
- 住所：八戸市白銀2-5-1
- 事業：八戸港のすぐそばに位置し、鮮魚や冷凍魚、加工品を日本全国、海外にお届けしている水産会社である。また、品質・衛生管理を徹底したHACCP認定工場で食品を製造し、スーパーや飲食店、老健施設などに販路を持っている。

取組内容

高効率ボイラへの更新と原材料代替品の検討

- ・専門家から、省エネ効果の高い最新設備への更新、調達が安定している原材料の使用等についてアドバイスを受ける。
- ・節電対策のため、ボイル用のボイラを高効率の設備更新した。
- ・また、不漁が続くイカやサバの代替品として地元産のミズダコを活用した新商品の試作を行った。
- ・導入後、専門家によるコスト削減効果の測定と試作状況の確認、今後の取組への助言等を実施した。



導入した高効率ボイラ



開発したボイルタコ商品

取組効果

光熱費削減・代替品商品化

- ・設備の更新によりボイラ効率が85%→95%に上昇
 - ・地元産ミズダコを原材料とする新製品の開発
- ⇒加えて
- ・原材料の調達難やコストアップのリスク低減→外部環境への対応力の向上

年間削減量・削減額（計画）

重油A：▲2,474e



▲188,024円